

〈研究ノート〉

## 幼児期の飼育・栽培活動と読書環境に対する 保護者の意識調査から見えてくるもの

飯田 令子\*<sup>1</sup>  
寺田 博幸\*<sup>2</sup>

### 1 はじめに

#### (1) 問題の所在

平成 29 年 3 月に告示された幼稚園教育要領<sup>1)</sup>では、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」として 10 の事項を示し、小学校以降の子供の発達を見通しながら幼稚園教育において育みたい資質・能力を一体的に育むよう努めることが示されている。一方、ゲームやインターネットの普及により、子供たちの多くがバーチャルな世界での楽しみに浸るようになってきた。希薄な人間関係や実感を伴わない出来事の連続で、自分以外の心や体の痛みが分かりにくく、SNS を通した陰湿ないじめや事件が後を絶たない。

筆者は、子供たちの道徳性や豊かな感性が、幼児期の様々な体験によって培われるであろう、中でも、直接命と向き合うことができる飼育・栽培活動や、言葉によってイメージを膨らませたり考えたりすることとなる読書経験は、幼児期の子供たちの感性を育む基礎となるであろうと考える。幼児期のこれらの環境を整える重要な役割を担っているのは家庭である。保護者の意識は幼児の感性を育むことに大きな影響を与えているであろう。

そこで、以下のような主題を設定し、保護者の意識調査から見えてくる幼児の姿について考

察することとした。

#### (2) 研究主題設定の理由と研究目的

飼育・栽培活動から得られる体験は、幼稚園教育要領<sup>2)</sup>に示されている「幼稚園教育において育みたい資質・能力及び『幼児期の終わりまでに育ってほしい姿』(7) 自然との関わり・生命尊重」と深く関わっている。すなわち、「自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取り、好奇心や探究心をもって考え言葉などで表現しながら、身近な事象への関心が高まるとともに、自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。また、身近な動植物に心を動かされる中で、生命の不思議さや尊さに気付く、身近な動植物への接し方を考え、命あるものとしていたわり、大切にす気持ちをもって関わるようになる」のである。この姿を育成するために、井上(2018)<sup>3)</sup>は、「保育者自身も子どもにとって模倣や憧れの対象だと自覚することが大切であり、保育者が自然の変化に気付く、感動し、自然を愛で、命を大切にしなければならぬ」と指摘している。即ち、幼児教育は幼児期において生命尊重の感性を育てるのに大きな役割を果たしている。

平成 18 年に改正された教育基本法<sup>4)</sup>によって、家庭教育や幼児期の教育についての条文が初めて記載され、幼児期の教育の重要性がクローズアップされた。子供を取り巻く環境の急激な変化を受け、教育を学校のみならず、家庭や地域、社会全体での責任を負うというものである。

\*<sup>1</sup> Reiko IIDA  
京都市立嵐山小学校

\*<sup>2</sup> Hiroyuki TERADA  
京都文教大学

一方、「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」においても、家庭での読書の習慣付けの重要性や家庭での読書活動への支援（読み聞かせ体験とともに乳幼児と保護者に絵本を手渡すブックスタート、子供を中心に家族で同じ本を読み、絆の一層の深まりを目指す家読など）を重要視している。

「第2章基本方針 I 子供の読書活動に関する課題」<sup>5)</sup>の中では、読書の役割を「子供は、読書を通じて、読解力や想像力、思考力、表現力等を養うとともに、多くの知識を得たり、多様な文化を理解したりすることができるようになる。(中略)自ら学ぶ楽しさや知る喜びを体得し、更なる探究心や真理を求める態度が培われる」と述べている。さらに、「発達段階に応じた取組」<sup>6)</sup>の中では、「①幼稚園、保育所等の時期(おおむね6歳頃まで)乳幼児期には、(中略)絵本や物語に興味を示すようになる。(中略)様々な体験を通じてイメージや言葉を豊かにしながら、絵本や物語の成果を楽しむようになる。」としている。また、「II 家庭における取組(1)家庭の役割」<sup>7)</sup>では、「保護者が配慮・率先して、子供の読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たしていくことが求められている。(中略)読書に対する興味や関心を引き出すように子供に働きかけることが望まれる。」とし、家庭での読書環境が幼児教育に重要な役割を果たしていることを述べている。

これらのことから、飼育・栽培活動や読書環境に対する保護者の意識を調査するとともに、幼児の飼育や栽培への興味・関心と保護者による読み聞かせや読書環境との関係について、アンケート調査を通して研究することとした。

## 2 調査

### (1) 研究対象：

A幼稚園(公立幼稚園)

5歳児29名(回収27)の保護者

4歳児18名(回収16)の保護者

B幼稚園(公立幼稚園)

5歳児26名(回収20)の保護者

4歳児18名(回収17)の保護者

3歳児29名(回収23)の保護者

### (2) 調査方法と内容

A園・B園の保護者に以下のような内容でアンケートをとり、分析することとした。飼育・栽培や読書環境(幼児用絵本等の所有冊数、読み聞かせをする・図書館に行く・本を購入するなどの保護者の意識、本を読み聞かせるなどによる効果)に対する保護者の思いがどのようなものか、また、それらには相関関係があるのかなどについて調査した。

〈保護者アンケート〉(一部抜粋して掲載)

設問1-1:ご家庭では、お子達に生き物の飼育を体験させていますか。

- ①とても大切にして体験させている
- ②どちらかという大切に体験させている
- ③あまり体験させていない
- ④全く体験させていない

設問1-2:お子達は生き物が好きですか。

- ①とても好き
- ②あまり好きでない
- ③きらい

設問2-1:ご家庭では、お子達に植物の栽培を体験させていますか。

- ①とても大切にして体験させている
- ②どちらかという大切に体験させている
- ③あまり体験させていない
- ④全く体験させていない

設問2-2:お子さんは植物を育てることが好きですか。

- ①好き
- ②あまり好きではない
- ③きらい

設問3-1:ご家庭では本の読み聞かせをど

れくらいされていますか。

- ①毎日
- ②ほぼ毎日
- ③週に2～3回程度
- ④週に1回程度
- ⑤ほとんどしない

設問3-3：本を買う、図書館に行くなど、読書環境について子育てで気を付けておられることはありますか。(自由記述)

尚、本アンケート調査の実施に当たっては、両園の園長先生にアンケートの目的・実施方法等について十分説明を行い、論文掲載についても了解を得た。また、回答については任意であることについても説明した。

### 3 結果と考察

以下に示す〈表1-1〉と〈表2-1〉はA幼稚園における4歳児、5歳児の、また、〈表3-1〉〈表4-1〉〈表5-1〉はB幼稚園における3歳児、4歳児、5歳児の保護者が生き物の飼育体験を意図的にさせているかどうかと幼児が生き物を好きかという関係を調べたものである。また、各年齢での設問3-1についての結果も併記した。

〈表1-1 A幼稚園4歳児(飼育)〉

1-1		1-2		3-1	
家庭で生き物の飼育を体験させているか		子供はは生き物が好きか		家庭で本の読み聞かせをどれくらいしているか。	
とても大切に体験させている	1 (6%)	とても好き	14 (87%)	毎日	3 (19%)
どちらかという大切にしている	6 (38%)			ほぼ毎日	4 (25%)
あまり体験させていない	8 (50%)	あまり好きでない	2 (13%)	週に2～3回	7 (44%)
全く体験させていない	1 (6%)	きらい	0 (0%)	週に1回程度	2 (12%)
				ほとんどしない	0 (0%)

〈表2-1 A幼稚園5歳児(飼育)〉

1-1		1-2		3-1	
家庭で生き物の飼育を体験させているか		子供はは生き物が好きか		家庭で本の読み聞かせをどれくらいしているか。	
とても大切に体験させている	4 (16%)	とても好き	23 (92%)	毎日	5 (19%)
どちらかという大切にしている	12 (48%)			ほぼ毎日	11 (42%)
あまり体験させていない	6 (24%)	あまり好きでない	2 (8%)	週に2～3回	4 (15%)
全く体験させていない	3 (12%)	きらい	0 (0%)	週に1回程度	3 (12%)
				ほとんどしない	3 (12%)

〈表3-1 B幼稚園3歳児(飼育)〉

1-1		1-2		3-1	
家庭で生き物の飼育を体験させているか		子供はは生き物が好きか		家庭で本の読み聞かせをどれくらいしているか。	
とても大切に体験させている	2 (9%)	とても好き	18 (78%)	毎日	7 (31%)
どちらかという大切にしている	3 (13%)			ほぼ毎日	10 (43%)
あまり体験させていない	9 (39%)	あまり好きでない	5 (22%)	週に2～3回	1 (4%)
全く体験させていない	9 (39%)	きらい	0	週に1回程度	4 (18%)
				ほとんどしない	1 (4%)

〈表4-1 B幼稚園4歳児(飼育)〉

1-1		1-2		3-1	
家庭で生き物の飼育を体験させているか		子供は生き物が好きか		家庭で本の読み聞かせをどれくらいしているか。	
とても大切に体験させている	2 (12%)	とても好き	10 (58%)	毎日	5 (29%)
どちらかという大切にしている	2 (12%)			ほぼ毎日	2 (12%)
あまり体験させていない	3 (18%)	あまり好きでない	7 (42%)	週に2~3回	8 (47%)
全く体験させていない	10 (58%)	きらい	0	週に1回程度	2 (12%)
				ほとんどしない	0 (0%)

〈表5-1 B幼稚園5歳児(飼育)〉

1-1		1-2		3-1	
家庭で生き物の飼育を体験させているか		子供は生き物が好きか		家庭で本の読み聞かせをどれくらいしているか。	
とても大切に体験させている	4 (21%)	とても好き	15 (79%)	毎日	5 (25%)
どちらかという大切にしている	3 (16%)			ほぼ毎日	6 (30%)
あまり体験させていない	7 (37%)	あまり好きでない	4 (21%)	週に2~3回	3 (15%)
全く体験させていない	5 (26%)	きらい	0	週に1回程度	4 (20%)
無回答1		無回答1		ほとんどしない	2 (10%)

\* (栽培活動に関するデータは紙面の関係で省略)

3歳児より4歳児、5歳児と園児の年齢が上がるにつれて保護者の飼育についての意識が高まっていることがわかる。A・B幼稚園共に年齢が低いほど「あまり体験させていない」「全く体験させていない」という保護者が多い。また、栽培活動においても同様の傾向が見られた。一方で、飼育や栽培に関心の高い園児が多いのには、幼稚園での教育の成果が大いに考えられ

る。

一方、設問1-1及び設問2-1と設問3-1との関係を見ると、A・B両園とも家庭での飼育活動に対する意識が高い保護者が必ずしも読書活動にも意識が高いとは言えなかった。

設問1-1と設問2-1との関係からは、飼育についての保護者の思いと幼児の生き物や植物に対する関心には顕著な相関関係が見られないということが分かる。幼児教育のためというよりは、保護者の興味・関心が要因で飼育・栽培環境が整えられていることが考えられる。

(設問1-2と設問2-2についても同様)

一方、設問3-3(読書環境について気を付けていること)の欄には、以下のような記述があった。ここからは、読書活動に対して、幼児の思いを尊重し、受け止めたり、知的好奇心を耕したりするような保護者の配慮が多く見られた。

- ・「読んでほしい」という本人の気持ちを尊重する。興味をもった本を買うようにしている。
- ・学びのある本を選ぶ。
- ・寝る前に必ず読むようにしている。
- ・図書館や書店では必ず幼児用の本のコーナーに行く。
- ・母親以外の家族もかかわって本を読み聞かせするようにしている。
- ・リビングなど子供の目につくところ、すぐに出せるところに本を置くようにしている。
- ・いろいろなジャンルの本にふれられるように整えている。
- ・テレビを消して本を読む時間を設定している。
- ・大人がよいと思う内容の本をそろえる。

また、アンケートの回答のうち、読書環境を整える理由として「子供が本の世界を楽しむため」「親子のふれあいのため」の項目を挙げている保護者は多い。毎日ほど読み聞かせをしている保護者や、子供が欲しいと言った本はで

きるだけ買うようにしている保護者など、おもちゃを買い与えることに比べると、本の環境を整えようとしている保護者の思い・願いが表れていると考えられる。

飼育・栽培環境と園児の関心を調査した結果からは、必ずしも、保護者が飼育・栽培に関心があるからと言って読書環境を整えようとしているとは限らないと言える。しかし、保護者の読書環境に対する関心は高く、今後、意図的に読書環境を整えている幼児が、飼育や栽培活動に対してどのような興味・関心を示しているのか、また、心豊かな幼児の姿が見られるのかについての研究を深めていきたい。

《参考文献・引用文献》

- 1) 小学校学習指導要領（平成 29 年告示）幼稚園教育要領 第 1 章総則第 2 幼稚園教育において育みたい資質・能力及び「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」東洋館出版 2017（p.205L26～30）
- 2) 小学校学習指導要領（平成 29 年告示）幼稚園教育要領 第 1 章総則第 2 幼稚園教育において育みたい資質・能力及び「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」文部科学省 2017（p.205L35～38）
- 3) 無藤隆編著（井上）「幼児期の終わりまでに育ってほしい 10 の姿」東洋館出版 2018
- 4) 小学校学習指導要領（平成 29 年告示）教育基本法 文部科学省 p.4L13～23
- 5) 「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」文部科学省 平成 30 年 4 月（p.6 L3～8）
- 6) 「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」文部科学省 平成 30 年 4 月（p.12 L14.～19）
- 7) 「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」文部科学省 平成 30 年 4 月（p.13 L7～21）